

持込修理

品番	UT-VB1500		
お買上げ日	年	月	日
保証期間	お買上げ日から1年間		
お客様	ご住所 〒		
	電話番号 () -		
	お名前		
販売店	様		

本書はお買上げ日から上記の期間中に故障が発生した場合、アフターサービスに記載の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。

個人情報の取扱いについて

- お客様にご記入いただきました個人情報につきましては、修理等の本製品に関わる業務においてのみ利用させていただきます。また、修理業務のために製造メーカーに提供する場合があります。
- 修理・故障の際は、お買上げの販売店にご相談ください。修理は持込修理とさせていただきます。遠方の方はご相談ください。
- 操作方法・組立方法・その他のお問合せはお買上げの販売店又はお客様ご相談センターにご相談ください。
- 消耗品は保証期間内であっても有償となります。詳しくはお客様ご相談センターへご相談ください。



愛情点検

長年ご愛用のジューサーの点検を

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードが異常に熱い
- 本体に変形がある、または異常に熱くなる
- コードに傷がある、または通電したりしなかったりする
- 使用中に異常な音がする
- 本体やボトルにひび割れがある

ご使用中止

電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店又はお客様ご相談センターに点検をご相談ください。

輸入発売元：

株式会社 ツインズ

〒273-0853

千葉県船橋市金杉7-1-9ツインヒルズ西館3F

TEL：047-449-8380 FAX：047-449-8381

URL <http://www.twins-corp.com/>

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-980-997

受付時間：10:00～12:00

13:00～16:00

月～金曜日

(祝日・年末年始・夏季休暇を除く)



取扱説明書

次世代グラインダージューサー ベジビート 品番：UT-VB1500

この度は、次世代グラインダージューサー ベジビートをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。ごぞいます。

製品をお使いいただく前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、製品を正しく安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

もくじ

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ P1～P2
- 各部の名称・・・・・・・・・・ P3～P4
- 準備：取付けの仕方・・・・・・・・ P5～P7
- 準備：取外しの仕方・・・・・・・・ P8～P9
- 使い方（調理）：食材について・・・・ P10
- 使い方（調理）：基本の操作・・・・ P10
- 使い方（調理）：コップに注ぐ・・・・ P11
- 使い方（調理）：押込み棒の使い方・・ P11
- 片付け：お手入れの仕方・・・・・・・・ P12
- 困ったなと思ったら・・・・・・・・ P13
- 製品仕様・・・・・・・・・・ P13
- アフターサービス・・・・・・・・ P14
- 保証書・・・・・・・・・・ 裏表紙



同梱品

本体、押込み棒、ハンドル
掃除ブラシ1, 2 (各1本)
取扱説明書、レシピ本

保証書付

- この製品は家庭用です
- 日本国内専用です


安全上のご注意


必ずお読みください


ここに記した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき危害や損害を未然に防ぐためのものです。ここでは注意事項を「警告」と「注意」に区分して安全にご使用いただくために必ずお守りいただくことを記載しています。


 記号は<禁止>(しないでください)を表示します  記号は<強制>(必ずしてください)を表示します

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 **改造、分解、修理は絶対にしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店又はお客様ご相談センターにご相談ください。**

 **異常（変形している・異常に熱くなる・煙が出る・異音がする・異臭がする等）があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。**

 **電源プラグ・電源コードは正しく取り扱ってください。**

 **次のように電源プラグ・電源コードが破損するようなことはおやめください。**
・ねじる・引っ張る・無理に曲げる・束ねる
・加工する・重い物を載せる・挟み込む
火災や感電の原因となります。

■電源プラグ・電源コードが傷んでいる時は使わないでください。
感電・ショート・発火の原因となります。

■電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。


■濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。


■電源プラグや電源コードを熱器具に近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

■電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、感電・ショートによる発火の原因となります。


■電源プラグのホコリ等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。
汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。
※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。


■長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。
感電や漏電火災の原因となります。

 **表示された電源電圧以外では使わないでください。また、コンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。発熱による火災の原因となります。**
※船舶や自動車の直流（DC）電源には接続しないでください。


 **隙間などから金属物などの異物を入れないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。**

安全上のご注意


 **コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。感電や発火の原因となります。**

 **本体に水をつけたり、水をかけたりしないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。**

 **使用に関するご注意**


-  **遵守**
- 運転中は、ふたを開けたり、箸・スプーン・指などを入れないでください。けがの原因となります。
 - カッターは鋭利ですので直接手を触れないでください。また、運転中に部品の取付けや取外しをしないでください。けがの原因となります。
 - 小さなお子様には使わせしないでください。思わぬ事故やけがの原因となる恐れがあります。
 - 純正品以外の部品を組み合わせ使用しないでください。故障の原因となります。

 **お手入れに関するご注意**


-  **遵守**
- お手入れをする際は、本体のスイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。感電やけがの原因となります。
 - お手入れをする際は、カッターの取扱いにご注意ください。けがの原因となります。

注意 人が損害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

 **設置時・設置場所のご注意**

-  **遵守**
- 不安定な場所に置かないでください。落下や転倒の恐れがあります。
 - 高温になる場所（日光の当たる場所・熱器具の近くなど）に置いたり、そのような場所で使わないでください。
変形・変色や火災の原因となります。
 - 油煙や湯気の当たる所、湿気やホコリの多い所には置かないでください。油・水分・ホコリがついた部分を電気が伝わり、火災や感電の原因となります。
 - 小さなお子様の手が届かない場所に設置及び保管してください。

 **移動時のご注意**

-  **遵守**
- 運転中は移動しないでください。中身がこぼれて故障などの原因となります。
 - 移動をする際は、電源コードをコンセントから抜いてください。

各部の名称



各部の名称

同梱品



ハンドル

※ボトルとカッター台を取外し / 取付けするための専用部品です。
詳細は、P6「準備：取付けの仕方」・P9「準備：取外しの仕方」をご覧ください。



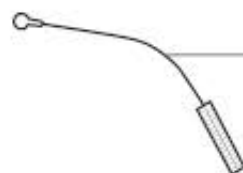
押し込み棒

※小さい材料を入れる際に使用する部品です。
詳細は、P11「使い方（調理）：押し込み棒の使い方」をご覧ください。



掃除ブラシ 1

※カッターをお手入れする際に使用するブラシです。
詳細は、P12「片付け：お手入れの仕方」をご覧ください。



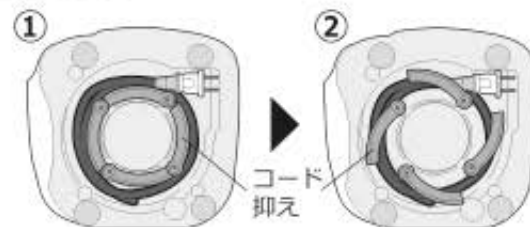
掃除ブラシ 2

※ボトルの取っ手をお手入れする際に使用するブラシです。
詳細は、P12「片付け：お手入れの仕方」をご覧ください。

電源コードの収納について

- ① 本体底面の溝に電源コードを巻いて収納します。
- ② コード抑えを動かします。

※ご使用前にコードを出してください。

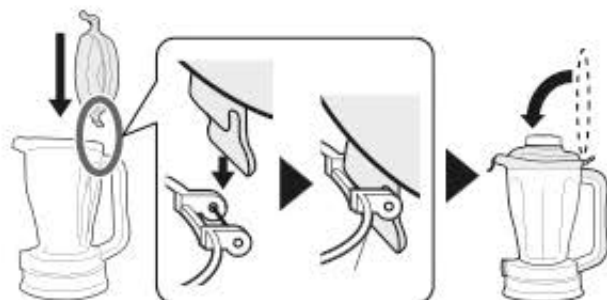


準備：取付けの仕方

- 初めてお使いの際は、ご使用前に本体以外の各部品を水洗いしてください。
(※P8～9「準備：取外しの仕方」、P12「片付け：お手入れの仕方」をご覧ください。)
- 取付け / 取外しの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ボトルとボトルのふた

ボトルのふたの窪みを
ボトルの棒に
差し込んで取付けます



注ぎ栓と注ぎ口

注ぎ栓のリングを「しめる」
の向きに回して取付けます



※出荷時はこの状態に
組立てられています

注ぎ口とボトル

※出荷時は、注ぎ口とボトルが別々に梱包されています。

① ボトルに注ぎ口を
取付けて、「しめる」
の向きに回します



② ボトルと注ぎ口の突起の位置が
図のようになっていることを
確認してください

ボトルと注ぎ口のラインを合わせます。



準備：取付けの仕方

ボトルとカッター台



※取付けは必ず安定した台の上で作業をしてください。

① 本体にハンドルを
載せます

ハンドルの溝を本体の突起に
合わせて載せます。



② ハンドルにカッター台を
載せます

カッター台の突起を正面
(本体の正面にくる位置)に
向けて載せます。

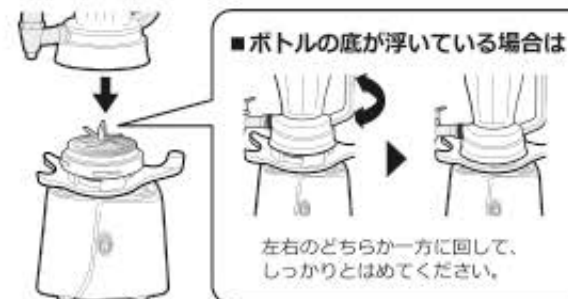
カッター台は重みがあります。
指を挟まないようお気をつけ
ください。

カッター台の突起



③ カッター台にボトルを
載せます

ボトルの底が浮いていない
ことを確認してください。



④ 矢印の方に回して 取付けます

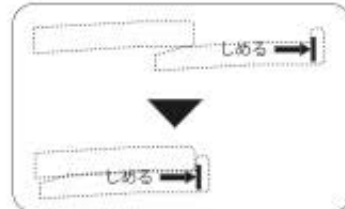
① 下方へ押し付け
ながら

② 矢印の方に回して
しめます



※回す時に注ぎ口を
持たないでください。
注ぎ口に力が加わると
破損の原因となります。

■ボトルのマークに合わせて確実に
しめてください



準備：取付けの仕方

本体とボトル

※出荷時は、本体とボトルが別々に梱包されています。

① ボトル（カッター台 取付け済み）を載せます

ハンドルが載っていないことを確認

OFFを確認

② ボトルを「はめる」の向きに回して取付けます

ボトルを載せ、ボトルの底が浮いていないことを確認してください。

はめる はずす

※不安定にセットされていると、運転が止まったり故障の原因となります。

ボトルスイッチの位置を確認してください

側面のボトルスイッチをご確認ください

「ON」の位置では運転出来ませんが、「OFF」の位置では、安全の為に運転出来ません。

①「OFF」の位置に合わせてボトルを載せます。

②「ON」の位置まで回して取付けます。

準備：取外しの仕方

本体とボトル

※出荷時は、本体とボトルが別々に梱包されています。

ボトルを「はずす」の向きに回して、本体から取外します

はめる はずす

側面のボトルスイッチをご確認ください

はずす ← ON → はめる

OFFを確認

はずす ← ON → はめる

注ぎ口とボトル

※出荷時は、注ぎ口とボトルが別々に梱包されています。

注ぎ口を「ゆるむ」の向きに回してボトルから取外します

しめる ゆるむ

注ぎ栓と注ぎ口

注ぎ栓のリングを「ゆるむ」の向きに回して取外します

ゆるむ しめる リング

※出荷時はこの状態に組立てられています

準備：取外しの仕方

ボトルとカッター台

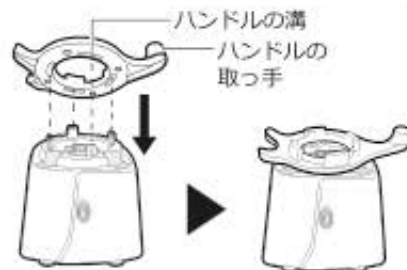


ハンドルを
使用します。

① 本体にハンドルを載せます

ハンドルの溝を本体の突起に合わせて載せます。

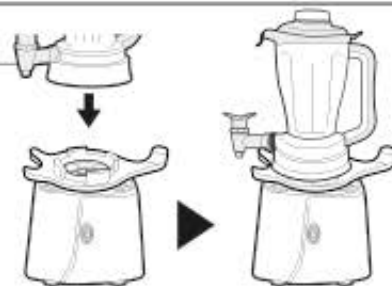
※取外しは必ず安定した台の上で作業をしてください。



② ハンドルにボトルを載せます

ボトルの底が浮いていないことを確認してください。

※出荷時は注ぎ口とボトルが別々に梱包されています。



③ 矢印の方に回してゆるめます

① 下方へ押し付けながら

② 矢印の方に回してゆるめます



※回す時に注ぎ口を持たないでください。

注ぎ口に力が加わると破損の原因となります。

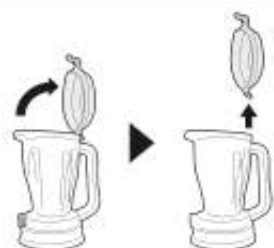
④ ボトルを持ち上げてカッター台からボトルを取外します



ボトルとボトルのふた



ボトルのふたを垂直になる位置まで開け、上に引き上げて外します



使い方（調理）：食材について

食材の準備をする

- ヘタのあるもの：ヘタを取る
- 芯や種のあるもの：芯や種を抜いておく

■かための材料

- ・にんじん など
- ・大根
- ・氷



■やわらかい材料

- ・リンゴ
- ・バナナ
- ・柑橘類 など



■薄い材料

- ・葉菜類
 - ・海藻 など
- よく洗う
茎などの太い部分を取る
約2cm角に切る



■液状の材料

- ・水
- ・牛乳
- ・汁物 など

本機で単品として調理できない材料について

かたい

- ・乾燥大豆
- ・乾燥した穀類（炊飯前の米・小麦など）
- ・乾物類（干しえび・じゃこなど 水戻ししていない昆布等）
- ・冷凍された食材
- ・市販の水

粘り気が強い

- ・とろろ芋
- ・流動食を作る など

水分が少ない

- ・ゆでたじゃがいも など

その他

- ・肉、魚類

※水を入れない状態で電源スイッチをONにしないでください。

使い方（調理）：基本の操作

準備

- ボトルにカッター台、注ぎ口を取付けておきます。（P5～6をご覧ください。）
- ※材料を入れる前は、ボトルを本体にセットしないでください。
- 作業の前に、電源スイッチが【OFF】の状態であること、電源プラグは抜いてあることを確認してください。

1 ボトルに材料を入れます

- やわらかい材料から入れてください。

- ① 液状の材料
- ② やわらかい材料
- ③ かための材料の順

※かための材料や氷などを先に入れると、運転が止まりやすくなる原因となります。

- 材料を入れたら、ボトルのキャップ・ボトルのふたを必ず閉めてください。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます



3 ボトルを本体にセットします

- P7 準備：取付けの仕方「本体とボトル」を参照してください。

4 電源スイッチを押して調理を始めます

- 本機の定格時間は3分です。3分を超えて運転をしないでください。
- 3分間運転をした場合は、1分以上停止してください。



使い方（調理）：コップに注ぐ

出来上がったら調理物をコップなどに注ぎます

① 出来上がったら電源スイッチは、ONのままにします

- スイッチが「ON」の状態でないとう調理物が注ぎ口から出ません。

② 注ぎ口にコップなどを用意します

③ 注ぎ栓を操作して調理物をコップに注ぎます

- 注ぎ栓を矢印の方向に動かすと、ボトル内の調理物が注ぎ口から出ます。

④ 注ぎが終わったら電源スイッチを「OFF」にします。

- ※その際、注ぎ栓を元の位置に必ず閉めて戻してください。



使い方（調理）：押し込み棒の使い方

小さい材料を押し込み棒を通して入れることができます。

- ボトルのキャップを外して使用します。

- 必ずボトルのふたをした状態で使用してください。ボトルのふたを使用しないと破損の原因になります。



ご使用後は

次の方法でボトル内を水洗いすることができます。

- 水またはお湯をボトルに注ぎ、本体スイッチをONにして注ぎ口から排水することでボトル内を水洗いすることができます。

片付け：お手入れの仕方

- お手入れは、必ず本体の電源を切って電源プラグを抜いてから作業をしてください。
- カッターの取扱いにご注意ください。
- シンナー・ベンジン・アルコール・金属たわし・研磨剤の入ったスポンジ・先の尖ったものなどを使わないでください。※ボトルに傷がつく恐れがあります。
- 食器洗い乾燥機、食器乾燥機は使わないでください。※部品が破損する原因となります。

水洗いできるもの



- やわらかいスポンジに台所用中性洗剤を薄めて含ませ、洗ってください。その後、洗剤を完全に流してください。
- カッターは付属の掃除ブラシ1で洗ってください。※カッターに直接触れないでください。
- ボトルの取っ手内部は付属の掃除ブラシ2で洗ってください。

- 調理後、早めにお手入れをしていただくことをおすすめします。※色素の強い材料を使用した場合は、変色することがありますがお使いいただく上で差し支えはありませんので、安心してお使いください。

水洗いできないもの



- ぬるま湯または水を含ませて、よく絞ったやわらかい布で拭いてください。

保管時のおねがい

- お手入れの後は、完全に乾かしてから保管してください。
- ボトルとカッター台を取付けて保管してください。
(P6 準備：取付けの仕方「ボトルとカッター台」をご覧ください。)

次回の使用時に取出す際に、カッターが直接手に触れるとけがの原因となります。

- お子様の手の届かない場所に設置及び保管してください。

こんなとき	確認してください
空回りする	■材料が大き過ぎたり、氷が多過ぎませんか
スイッチを入れても 運転しない	■電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。 ■カッターなどの可動部に材料がはさまっていませんか。 ■ボトルやカッター台は本体に正しくセットされていますか。
運転中に 動いたり止まったりする	■対応しない材料が入っていませんか。 (P10「食材について」をご覧ください。) ■材料が多過ぎませんか。 ■材料が硬過ぎませんか。
材料が漏れたり ボトルから 染み出たりする	■ボトルやカッター台は本体に正しくセットされていますか。 ※取付けが緩んでいたたり斜めにセットされていると、隙間から材料が染み出すことがあります。
運転中に 動かなくなった	■定格時間の3分を超えて運転していませんか。 ※連続で運転したりモーターに無理な力が加わると、モーターが熱くなるため安全装置が働いて運転が止まります。 →その場合は、電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた状態で2分以上放置してください。
モーターが弱くなった	■モーターが弱くなったと感じたら点検をお勧めします。 お客様ご相談センターへご相談ください。

製品仕様

品番	UT-VB1500
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	245/235W
定格時間	3分
定格容量	約1500ml
コード長	約1.4m
寸法	約W280×D208×H472mm(突起含まず)
質量	約5kg
材質	ボトル:PCTG樹脂、本体:ABS樹脂、カッター・グラインダー:ステンレス

※本機の意匠、仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

保証書

■お買上げ日・お客様・販売店欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- この取扱説明書には商品の保証書がついています。お買上げの販売店で「お買上げ日・販売店」等の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日より1年間です。万一故障したときは、内部機構をさわらずにお買上げの販売店又は、お客様ご相談センターにご相談ください。
保証書の記載内容により修理いたします。詳しくは保証規定をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理につきましても、お買上げの販売店又は、お客様ご相談センターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ご使用中に不審な点やふだんと変わった状態になりましたら、お買上げの販売店又は、お客様ご相談センターにご相談ください。
- この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 本製品は日本国内用に設計されています。外国では電源電圧が異なるため使用できません。また、アフターサービスも受けることはできません。

This appliance is designed for domestic in japan only.
Do not use this appliance in foreign countries where the voltage is different from that of japan.
No servicing is available outside of japan.

- アフターサービスについてご不明の点、その他当社製品についてのご相談、お問い合わせはお買上げの販売店又は、お客様ご相談センターまでご相談ください。
- 本品の性能等についてのお問い合わせの際は、品名・品番を同時にお知らせください。

保証規定

- 保証期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買上げの販売店が無償修理いたします。お買上げ日から、保証期間内に故障した場合は、お買上げ販売店に修理をご依頼の上、本書をご提示ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げ販売店又はお客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内であっても、次のような場合には有償修理となります。
イ、使用上の誤り、又は改造や不当な修理による故障又は損傷。
ロ、お買上げ後の落下・引越し輸送等による故障または損傷。
ハ、火災・地震・水害・落雷その他天災地変ならびに公害や電圧異常その他外部要因による故障又は損傷。
ニ、業務用としての使用、車両・船舶への搭載など、一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
ホ、本書の提示がない場合。
ヘ、本書に、お買上げの年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転売の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記載してあるお買上げ販売店に修理をご依頼されることが出来ない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は、お客様ご相談センターまでご相談ください。